

# ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ-

## Aコース (為替ヘッジあり) Bコース (為替ヘッジなし)

### 運用報告書 (全体版) 第14期

(決算日 2019年5月28日)  
(作成対象期間 2018年11月29日~2019年5月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3847>  
<3848>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期末 (2017年5月29日)	11,128	800	10.6	18,131	9.1	91.4	—	2,708
11期末 (2017年11月28日)	11,459	200	4.8	19,524	7.7	89.5	—	1,843
12期末 (2018年5月28日)	11,520	50	1.0	20,424	4.6	92.6	—	1,473
13期末 (2018年11月28日)	10,919	0	△ 5.2	20,130	△ 1.4	93.5	—	1,131
14期末 (2019年5月28日)	11,317	150	5.0	21,210	5.4	92.8	—	1,079

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

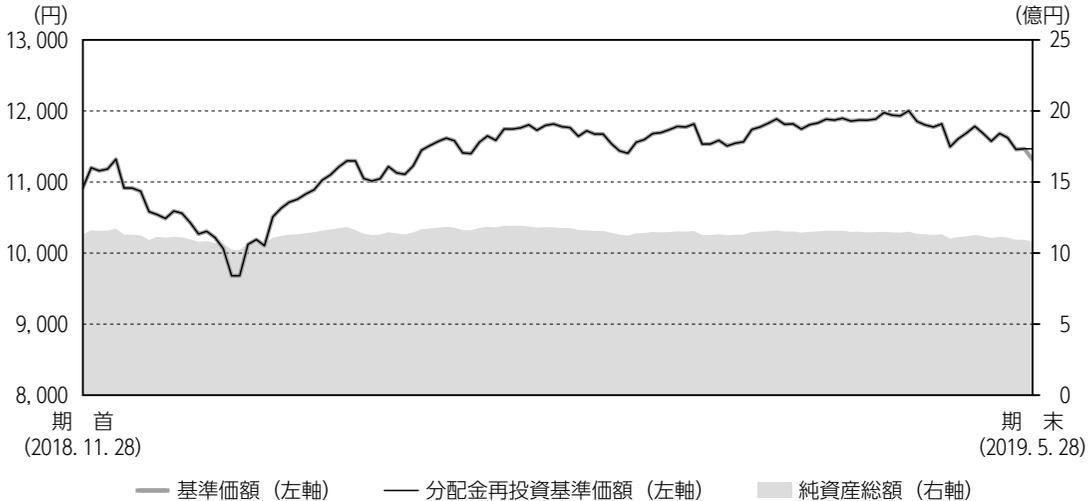
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：10,919円

期末：11,317円（分配金150円）

騰落率：5.0%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2018年11月28日	円	%		%	%	%
	10,919	—	20,130	—	93.5	—
11月末	11,157	2.2	20,547	2.1	93.5	—
12月末	10,189	△ 6.7	18,679	△ 7.2	90.2	—
2019年1月末	11,227	2.8	20,122	△ 0.0	93.0	—
2月末	11,765	7.7	20,957	4.1	95.0	—
3月末	11,546	5.7	21,130	5.0	92.0	—
4月末	11,932	9.3	21,961	9.1	92.9	—
(期末) 2019年5月28日	11,467	5.0	21,210	5.4	92.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2018. 11. 29 ~ 2019. 5. 28)

**■ 米国株式市況**

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどをを受けて下落しました。2019年に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会) が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、4月にかけて上昇基調で推移しました。しかし5月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

**前作成期末における「今後の運用方針」****■ 当ファンド**

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

**■ ダイワ米国厳選株マザーファンド**

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

## ポートフォリオについて

(2018. 11. 29 ~ 2019. 5. 28)

### ■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

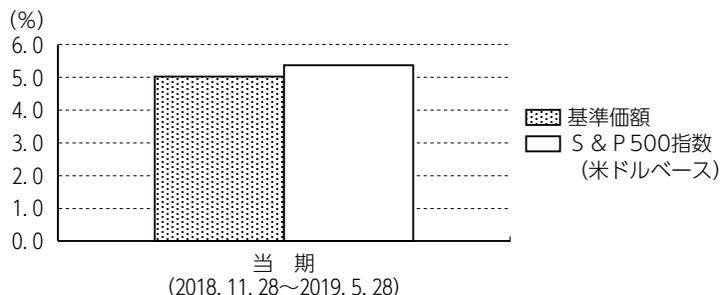
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CHARTER COMMUNICATIONS (コミュニケーション・サービス)などを高位で組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2018年11月29日 ～2019年5月28日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>150</b>
対基準価額比率	(%)	1.31
当期の収益	(円)	49
当期の収益以外	(円)	100
翌期繰越分配対象額	(円)	1,372

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	49.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		934.90
(d) 分配準備積立金	✓	538.04
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,522.22
(f) 分配金		150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,372.22

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

### ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	105円	0. 926%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 362円です。
(投 信 会 社)	(60)	(0. 525)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 020	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0. 020)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	3	0. 030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 013)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	111	0. 978	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年11月29日から2019年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	35,561	106,000	66,674	214,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年11月29日から2019年5月28日まで)

項 目	当 期	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	5,014,864千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,561,957千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	359,002	327,890	1,057,117

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	1,057,117	95.7
コール・ローン等、その他	47,129	4.3
投資信託財産総額	1,104,247	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.57円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,733,146千円)の投資信託財産総額(4,814,725千円)に対する比率は、98.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,143,547,524円
コール・ローン等	42,909,136
ダイワ米国厳選株	1,057,117,788
マザーファンド(評価額)	1,043,520,600
未収入金	1,043,520,600
(B) 負債	1,064,305,033
未払金	1,039,344,980
未払収益分配金	14,304,379
未払解約金	91,744
未払信託報酬	10,533,080
その他未払費用	30,850
(C) 純資産総額(A-B)	1,079,242,491
元本	953,625,275
次期繰越損益金	125,617,216
(D) 受益権総口数	953,625,275口
1万口当り基準価額(C/D)	11,317円

\* 期首における元本額は1,036,726,538円、当作成期間中における追加設定元本額は46,428,556円、同解約元本額は129,529,819円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,317円です。

■損益の状況

当期 自2018年11月29日 至2019年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,661円
受取利息	288
支払利息	△ 4,949
(B) 有価証券売買損益	64,943,494
売買益	117,180,931
売買損	△ 52,237,437
(C) 信託報酬等	△ 10,567,370
(D) 当期損益金(A+B+C)	54,371,463
(E) 前期繰越損益金	△ 3,604,584
(F) 追加信託差損益金	89,154,716
(配当等相当額)	( 63,222,366)
(売買損益相当額)	( 25,932,350)
(G) 合計(D+E+F)	139,921,595
(H) 収益分配金	△ 14,304,379
次期繰越損益金(G+H)	125,617,216
追加信託差損益金	89,154,716
(配当等相当額)	( 63,222,366)
(売買損益相当額)	( 25,932,350)
分配準備積立金	41,703,996
繰越損益金	△ 5,241,496

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 3,226,744円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,699,416円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	89,154,716
(d) 分配準備積立金	51,308,959
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	145,163,091
(f) 分配金	14,304,379
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	130,858,712
(h) 受益権総口数	953,625,275口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	150円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

Bコース (為替ヘッジなし)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期末 (2017年 5月29日)	11,322	0	10.7	25,389	8.3	93.5	—	6,818
11期末 (2017年11月28日)	11,612	300	5.2	27,257	7.4	90.5	—	4,395
12期末 (2018年 5月28日)	11,662	50	0.9	28,135	3.2	93.4	—	4,110
13期末 (2018年11月28日)	11,579	0	△ 0.7	28,809	2.4	93.9	—	3,457
14期末 (2019年 5月28日)	11,813	100	2.9	29,229	1.5	92.8	—	3,037

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

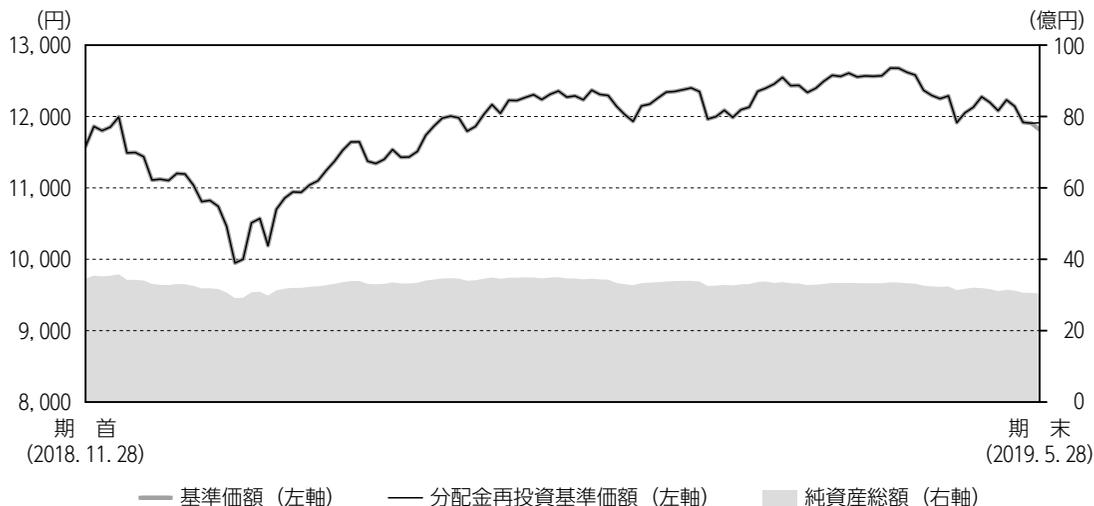
(注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：11,579円

期末：11,813円（分配金100円）

騰落率：2.9%（分配金込み）

#### 基準価額の変動要因

為替相場で、米ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2018年11月28日	円	%			%	%
	11,579	—	28,809	—	93.9	—
11月末	11,801	1.9	29,323	1.8	94.1	—
12月末	10,571	△ 8.7	26,077	△ 9.5	92.8	—
2019年1月末	11,511	△ 0.6	27,575	△ 4.3	93.3	—
2月末	12,289	6.1	29,223	1.4	94.9	—
3月末	12,095	4.5	29,496	2.4	92.8	—
4月末	12,619	9.0	30,894	7.2	93.0	—
(期 末) 2019年5月28日	11,913	2.9	29,229	1.5	92.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2018. 11. 29 ~ 2019. 5. 28）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどをを受けて下落しました。2019年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、4月にかけて上昇基調で推移しました。しかし5月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

### ■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどをを受けて下落基調となりました。その後、米中通商協議の進展期待などから反発する局面もありましたが、当作成期末にかけては、米中の対立姿勢の強まりや米国の利下げ観測の高まりなどから、米ドルは軟調な推移となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

## ポートフォリオについて

(2018. 11. 29 ~ 2019. 5. 28)

### 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

### ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

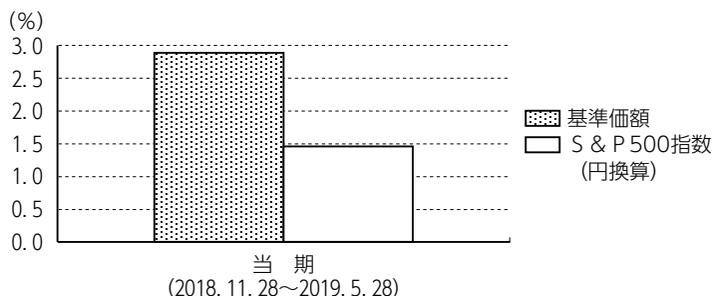
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CHARTER COMMUNICATIONS (コミュニケーション・サービス)などを高位で組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2018年11月29日 ～2019年5月28日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>100</b>
対基準価額比率	(%)	0.84
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,812

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	45.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	176.32
(c) 収益調整金		1,094.94
(d) 分配準備積立金		596.56
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,912.86
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,812.86

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 11. 29～2019. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	110円	0. 926%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 861円です。
(投 信 会 社)	(62)	(0. 525)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 020	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0. 020)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	4	0. 030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 013)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	116	0. 977	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

# ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年11月29日から2019年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	4,599	15,000	182,156	592,000

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年11月29日から2019年5月28日まで)

項 目	当 期	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	5,014,864千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,561,957千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	1,100,815	923,259	2,976,587

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,976,587	96.1
コール・ローン等、その他	119,466	3.9
投資信託財産総額	3,096,054	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.57円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,733,146千円)の投資信託財産総額(4,814,725千円)に対する比率は、98.3%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,096,054,340円
コール・ローン等	119,466,892
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	2,976,587,448
(B) 負債	58,945,891
未払収益分配金	25,710,176
未払解約金	2,500,413
未払信託報酬	30,645,896
その他未払費用	89,406
(C) 純資産総額 (A - B)	3,037,108,449
元本	2,571,017,674
次期繰越損益金	466,090,775
(D) 受益権総口数	2,571,017,674口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,813円

\* 期首における元本額は2,986,090,204円、当作成期間中における追加設定元本額は52,786,552円、同解約元本額は467,859,082円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,813円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年11月29日 至2019年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,499円
受取利息	868
支払利息	△ 9,367
(B) 有価証券売買損益	113,823,957
売買益	143,875,214
売買損	△ 30,051,257
(C) 信託報酬等	△ 30,741,792
(D) 当期損益金 (A + B + C)	83,073,666
(E) 前期繰越損益金	127,215,172
(F) 追加信託差損益金	281,512,113
(配当等相当額)	( 214,761,445)
(売買損益相当額)	( 66,750,668)
(G) 合計 (D + E + F)	491,800,951
(H) 収益分配金	△ 25,710,176
次期繰越損益金 (G + H)	466,090,775
追加信託差損益金	281,512,113
(配当等相当額)	( 214,761,445)
(売買損益相当額)	( 66,750,668)
分配準備積立金	184,578,662

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 9,435,087円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,576,681円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	45,333,056
(c) 収益調整金	281,512,113
(d) 分配準備積立金	153,379,101
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	491,800,951
(f) 分配金	25,710,176
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	466,090,775
(h) 受益権総口数	2,571,017.674口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ米国厳選株マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2019年5月28日)

(作成対象期間 2018年11月29日～2019年5月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

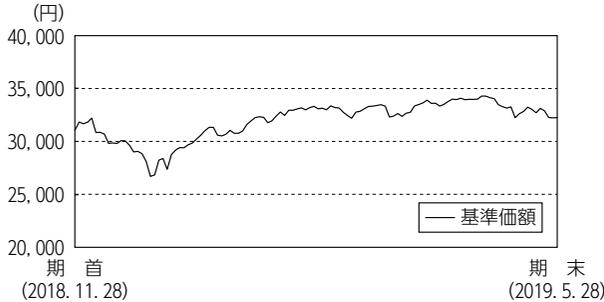
### 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年11月28日	31,056	—	28,809	—	95.0	—
11月末	31,661	1.9	29,323	1.8	95.1	—
12月末	28,369	△ 8.7	26,077	△ 9.5	93.8	—
2019年1月末	30,970	△ 0.3	27,575	△ 4.3	94.0	—
2月末	33,125	6.7	29,223	1.4	95.4	—
3月末	32,652	5.1	29,496	2.4	93.4	—
4月末	34,121	9.9	30,894	7.2	93.6	—
(期末) 2019年5月28日	32,240	3.8	29,229	1.5	94.7	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：31,056円 期末：32,240円 騰落率：3.8%

【基準価額の主な変動要因】

為替相場で、米ドルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて、世界的な

景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落しました。2019年に入ると、FRB (米連邦準備制度理事会) が今後の利上げについて慎重な姿勢を示したことや米中通商協議の進展期待などが支援材料となり、4月にかけて上昇基調で推移しました。しかし5月以降は、米中貿易摩擦の長期化懸念などから、当作成期末にかけて下落基調で推移しました。

○ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から、世界的な景気減速懸念や米国の政府機関が一部閉鎖されたことなどを受けて下落基調となりました。その後、米中通商協議の進展期待などから反発する局面もありましたが、当作成期末にかけては、米中の対立姿勢の強まりや米国の利下げ観測の高まりなどから、米ドルは軟調な推移となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、HILTON WORLDWIDE HOLDINGS (一般消費財・サービス)、CHARTER COMMUNICATIONS (コミュニケーション・サービス)などを高位で組み入れました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

## ダイワ米国厳選株マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	6円 (6)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (4) (4)
合 計	14

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 株 式

(2018年11月29日から2019年5月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
アメリカ	1,238.2 (7.57)	千アメリカ・ドル 7,356 ( )	百株 7,230.72	千アメリカ・ドル 38,003	百株

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 株 式

(2018年11月29日から2019年5月28日まで)

買 付	当 期			平均単価	売 付	当 期		
	銘 柄	株 数	金 額			銘 柄	株 数	金 額
		千株	千円	円		千株	千円	円
LIVANOVA PLC (イギリス)	21.835	212,491	9,731	CHARTER COMMUNICATIONS INC.A (アメリカ)	9.995	339,256	33,942	
BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	58.875	182,158	3,093	ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	2.86	337,582	118,035	
BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.495	93,873	189,643	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	69.45	326,024	4,694	
NETFLIX INC (アメリカ)	2.26	68,491	30,306	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	37.845	315,714	8,342	
SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	11	52,345	4,758	WELLS FARGO & CO (アメリカ)	54.21	287,648	5,306	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	10.93	44,501	4,071	ORACLE CORP (アメリカ)	44.2	246,250	5,571	
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	0.335	42,361	126,451	HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	13.885	203,640	14,666	
CITIGROUP INC (アメリカ)	4.895	30,791	6,290	REGENERON PHARMACEUTICALS (アメリカ)	4.61	196,148	42,548	
REGENERON PHARMACEUTICALS (アメリカ)	0.35	11,538	32,966	CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	41.535	194,715	4,687	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	1.02	10,400	10,196	GENERAL ELECTRIC CO (アメリカ)	205.01	193,058	941	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### 外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
MOODY'S CORP	256.79	146.04	2,703	296,189	金融
CITIGROUP INC	455.5	292.05	1,880	206,047	金融
POST HOLDINGS INC	314.35	178.75	1,924	210,839	生活必需品
CATERPILLAR INC	111.45	63.4	779	85,375	資本財・サービス
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	715.55	347.3	3,122	342,140	一般消費・サービス
HCA HEALTHCARE INC	216.6	80.05	991	108,621	ヘルスケア

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
GENERAL ELECTRIC CO	3,107.65	1,088.9	1,029	112,748	資本財・サービス
GENERAL MOTORS CO	969.3	551.25	1,935	212,126	一般消費・サービス
ALPHABET INC-CL C	59	33.75	3,825	419,155	通信・IT・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	136.75	77.75	1,407	154,246	通信・IT・サービス
CENTENNIAL RESOURCE DEVELOP-A	1,120.3	637.1	554	60,801	エネルギー
LIVANOVA PLC	—	204.1	1,475	161,619	ヘルスケア
REGENERON PHARMACEUTICALS	79.75	37.15	1,161	127,228	ヘルスケア

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千円	千円	
BOOKING HOLDINGS INC	16.84	13.74	2,347	257,210	一般職・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	175.1	77.4	2,902	318,026	コミュニケーション・サービス
CBRE GROUP INC - A	900.35	499.4	2,402	263,254	不動産
WELLS FARGO & CO	542.1	—	—	—	金融
NETFLIX INC	66.65	57.75	2,046	224,246	コミュニケーション・サービス
ORACLE CORP	442	—	—	—	情報技術
BANK OF AMERICA CORP	—	553.6	1,560	170,934	金融
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	1,085.2	500	2,638	289,045	金融
NATIONAL OILWELL VARCO INC	548.7	312.05	698	76,554	エネルギー
SCHWAB (CHARLES) CORP	492.8	372.7	1,611	176,618	金融
LEAR CORP	203.05	115.5	1,453	159,267	一般職・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	484.3	275.4	1,175	128,759	コミュニケーション・サービス
ファンド	株数、金額	株数、金額	評価額	評価額	
合計	23銘柄数<比率>	23銘柄	41,626	4,561,057	<94.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2019年5月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 4,561,057	% 94.7
コール・ローン等、その他	253,668	5.3
投資信託財産総額	4,814,725	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.57円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,733,146千円)の投資信託財産総額(4,814,725千円)に対する比率は、98.3%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,814,725,560円
コール・ローン等	251,806,002
株式(評価額)	4,561,057,326
未取配当金	1,862,232
(B) 負債	1,730
その他未払費用	1,730
(C) 純資産総額(A-B)	4,814,723,830
元本	1,493,379,453
次期繰越損益金	3,321,344,377
(D) 受益権総口数	1,493,379,453口
1万口当り基準価額(C/D)	32,240円

\* 期首における元本額は2,718,902,660円、当作成期間中における追加設定元本額は123,156,435円、同解約元本額は1,348,679,642円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイー Aコース(為替ヘッジあり) 327,890,133円、ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイー Bコース(為替ヘッジなし) 923,259,134円、ダイワ米国厳選パリュール株ファンド(ダイワSMA専用) 242,230,186円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は32,240円です。

## ■損益の状況

当期 自2018年11月29日 至2019年5月28日

項目	当	期
(A) 配当等収益		28,470,307円
受取配当金		26,727,862
受取利息		1,768,734
支払利息	△	26,289
(B) 有価証券売買損益	△	76,197,469
売買益		592,252,436
売買損	△	668,449,905
(C) その他費用	△	1,466,397
(D) 当期損益金(A+B+C)	△	49,193,559
(E) 前期繰越損益金		5,725,014,729
(F) 解約差損益金	△	2,617,320,358
(G) 追加信託差損益金		262,843,565
(H) 合計(D+E+F+G)		3,321,344,377
次期繰越損益金(H)		3,321,344,377

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。